

## 吉野川で遊ぼう！！



豊永の瀬

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。  
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。  
第13回は「吉野川カヤック～大歩危～」です。



国境の瀬

大歩危は「大股で歩くと危ない」がその名の由来と言われています。カヤックでもかなりの難易度で激流がいくつもあり、大歩危に行くには沈しても、あわてない心とロール（沈しても起き上がる技術）を身につける必要があります。

遊び人Mは、はじめての大歩危で6回沈して激流にもまれ、遊び心が折れかけたほろ苦いデビュー戦でした。いまでも大歩危に行くときは、あの時の苦い経験を思い出

します。しかし、一度、大歩危に行くと、他の川では物足りなくなります。カヤッカーにとって、大歩危を下れることは、上級者と呼ばれる（変態とも呼ばれる）第一歩です。

夏の大歩危には、吉野川の激流と清流をもとめ、全国からカヤッカーが集まります。

大歩危にカヤックで行くには、かなりの練習が必要となりますが、ラフティングなら気軽に激流を体験することができます。

ラフティングは、仲間と乗り、ガイドが操縦するので、かなり激しい流れでも楽しく下れます。

カヤックは、ひとりで操縦し、目線が低いので、波が大きく見えます。沈した場合は、お互い助け合いますが、セルフレスキュー（自分の身は自分で守る）が基本です。



ラフティングに手を振るスター☆長尾

最近カヤックの腕前をあげたと評判の、ぎょぎょ松くんに大歩危デビューしようと、誘ったところ返事がきました。

未体験レポート (from ぎょぎょ松くん)



昨年行った那賀川の驚敷ラインのカヤックで、心が折れるレベルなので大歩危は流石に恐ろしいのです。別の体験レポートの時には寄稿させて頂くので、申し訳ありませんが大歩危はご勘弁を... 那賀川リベンジのときにはがんばります。

(笑) ...ということで、スター☆長尾とふたりで大歩危を漕いできました。

大歩危には、「豊永、カエル岩、三段、岩原、国境、ベンヘルプ、平家、オーバーハング、下名、まんなか」と呼ばれる有名な瀬がいくつもあります。



カエル岩わかりますか？

名前のある瀬は、たいへん激しいと覚えておきましょう。このコースで最大の瀬は、徳島県と高知県の県境にある国境の瀬。他にも、カエルそっくりの岩があるカエル岩の瀬。瀬でおぼれそうになった人が、近くにいたベンに「ヘルプ、ベンヘルプ」と叫んだベンヘルプの瀬（諸説あり）。大きな岩がオーバーハングしている瀬など面白い由来の名前に瀬がありますよ。

大歩危をくだって、スター☆長尾さんから一言いただきました。

「やっぱり大歩危は、大人のおんな川ですよ」



スター☆長尾はかっこいいね